

平成 27 年度第 2 回目

平成 27 年 7 月 11 日（土）午前 10：30～11：40

議題①胃ろうについての講演

議題②活動報告・事故報告

議題①内村川上内科 川上院長による講演

胃ろう造設手術の概要、内村川上内科における手術件数の変化と今日的課題等を話される。

良い点…栄養状態が良くなり、規則正しい生活・食生活が無理なく続けられる。

嚥下訓練や言語リハビリが行いやすい。

本人と介護者の負担軽減。

課題 …胃ろう造設するかどうか？健康なうちに本人と話し合っておくことが大事。

植物状態でも胃ろうから栄養を入れ続けるべきかどうか？

資料として「脳梗塞による嚥下障害の患者」の事例紹介記事を配布した。

Q&A 参加家族；ちゃんと話せるうちに話し合っておかないといけないと思った。

民生委員；自身の経験からは、子としては親にできる限りの方法を取って

少しでも長生きをしてもらえるよう考える事が義務だと思ってきた。

植物状態などになると胃ろうなどするべきか？は考えが少し変わった。

*参加した利用者も真剣に聞いておられた。

議題②質疑等はなし

出席者；地域代表,家族代表,利用者代表,事業所代表等 計 20 名

《実施した行事・研修》 5 月～6 月

□母の日・父の日家族交流会 5/4 あやめ棟 3 家族 3 名参加

5/10 すみれ棟 6 家族 10 名参加

5/10, 6/21 さくら棟 3 家族 6 名

□園芸療法 5 月 夏野菜の植え付け, 夏の花の種まき

6 月 ジャガイモ収穫, 鉢上げ, 梅サワー作り, さつま芋植え付け

□音楽療法 5/12 3 棟合同で実施

□吉野東地区民生委員児童委員協議会が来所し交流 5/12

□避難訓練・炊き出し訓練 5/24 地震想定・3 棟対象 地域から 4 名参加協力があつた。

□バーベキュー交流会 5/24

地域住民, 家族 18 名が参加。地域の方と利用者が共に食材切りなど準備に参加した。

恒例行事にしてはどうかとの声も聞かれた。

- 5/9 地域包括ケアシステム構築における GH の役割（認知症 GH 協研修）
（1名参加）
- 5/18 食中毒・感染症予防に関する勉強会
- 5/19 生きる支援一夢のみずうみ村講演会（2名参加）
- 5/29 GH における看取りケア（よかど会研修）（3名参加）
- 6/15 食に関する勉強会
- 6/21 認知症と糖尿病 （1名参加）
- 6/22 法人内研修〈接遇〉 （11名参加）

《事故報告》 4月16日～6月15日

ヒヤリハット 軽度転倒 6件／切り傷・皮むけ 4件／薬関連 3件／転倒リスク
2件／異食 2件／打撲 1件／不注意 1件

・椅子・ベッドから座位で滑り落ちるケースを含めて軽度の転倒が最も多かった。眠剤を使用した後の副作用への注意が不足していたケースもあった。

・原因が特定できない皮むけが繰り返されたケースがあったため、リスク軽減の対策を徹底したい。

・薬に関するヒヤリハットは前回より減った。ミスのない取り組みを維持する。

以上